

脳神経外科

バイブレーション血管撮影治療装置での検査・治療について

当院ではバイブレーション血管撮影治療装置（アンギオ装置）を保有しており、**血管内治療を専門とする脳神経外科 天神博志医師**を中心に、血管内検査および血管内治療を実施しています。

●血管内検査による予防治療

当院では、症状が出ていない段階の予防治療として脳動脈瘤や頸動脈狭窄の発見を目的としたスクリーニング検査を行っています。

MRIおよびエコー検査にて、上記の疾患が疑われ精密検査が必要と判断された場合、さらにアンギオ装置を用いた血管内検査を行います。

●アンギオ装置による血管内治療

未破裂脳動脈瘤に対しては、症例によってはアンギオ装置を用いた「コイル塞栓術」にて血管内治療で開頭することなく治療を行うことが可能です。

カテーテルを血管内に挿入し、脳動脈瘤に達した段階で細いコイルの詰め物を入れることで、血管の破裂を防ぎます（図1）。

頸動脈狭窄に関して、頸動脈の内膜剥離術にリスクがある患者さんについては、アンギオ装置を使用したステント留置術を適用する場合があります。

カテーテルを挿入し、首の血管まで進めていきます。そして、バルーンカテーテルと呼ばれる風船状の器具にて細くなった血管を広げ、さらにステントと呼ばれる金属の網状の筒のような治療器具にて血管を広げます（図2）。



図1

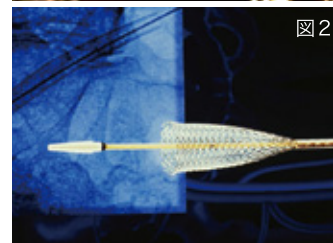


図2

アンギオ装置を用いた治療のメリット

メスを使わず検査・治療ができるため、身体への侵襲性が低く社会復帰までの時間が短縮されます。

脳動脈瘤および頸動脈狭窄に対する予防のための検査、および治療をお勧めされる患者様がおられましたら、当院地域連携室までご相談ください。

TEL（地域連携室直通） **072-464-2113**

内線番号ダイヤルイン 706番(谷川) 709番(久米) 705番(日根野谷) 708番(松村) 707番(中村)

FAX **072-464-7163**